

法政大学

Vol.9-2023

景觀研究室



KEIKAN LAB. INTRODUCTION

目次

■ 景観とは	1
■ 景観研究室とは	2
■ 教員紹介	3
■ 研究室メンバー紹介	4,5
■ ゼミナール	6,7
■ 論文紹介	8,9
■ 研究活動	10,11
■ プロジェクト活動	12,13,14
■ デザイン WS	15
■ ゼミ合宿	16,17
■ 大学院とは	18
■ 卒業生の進路	18
■ 卒業生インタビュー	19
■ 年間スケジュール	20,21

■ 景観とは

ようこそ！景観の世界へ

■ 景観とは

皆さんは「景観」という言葉を聞いて何を連想するでしょうか。景色や風景そのものを考える人もいると思います。景観研究の第一人者である中村良夫は「いまでもなく景観とは人間を取り巻く環境のながめにほかならない。しかしそれは単なるながめではなく、環境に対する人間の評価と本質的なかかわりがある。」と述べています。

すなわち「景観を見る」とは目に見えるながめのみを捉えるのではなく、その土地の自然や風土、そしてその土地に生ける人間との間に存在する関係性を読み解こうとする行為なのです。



一乘谷朝倉氏遺跡（福井県）

■ 景観工学とは



四万十川の文化的景観（高知県）



明石海峡大橋（兵庫県）



六十里越道路（山形県）

景観に関する学問は土木工事や建築学、造園学など私たちが学んできた工学分野だけでなく、地理学や歴史学、社会学などの人文系分野さらには心理学などの認知科学系の分野にまでわたります。

景観を工学的な観点から考え始めたのは高速道路が最初といわれています。安全で快適な走行を約束する線形設計や対向車の遮光、視線誘導の効用を持ちつつ道路にうるおいをもたらすことが始まりでした。人々の生活する国土において、構造物をそとの土地にふさわしく、より使いやすいものにしようと考えることが土木工学において景観を考える意義となっています。

つまり、景観工学とは広い分野から私たちを取り巻く環境を考える学問なのです。



華厳の滝（栃木県）



黒部ダム（富山县）

景観研究室とは

あなたの「景観を学ぶ場所」はこんなところ！

景観研究室は2012年4月に福井恒明教授が法政大学に着任した際に創設した研究室で、2023年度で12年目になります。現在修士11名、学部生10名の計21名で活動しており、2023年3月までに102名の卒業生を輩出しています。

研究内容

研究内容は公共空間の使われ方、街路の印象、空間の認識の仕方、土木デザイン論、土木史、都市の居場所など様々なものがあります。このように景観を形成する、幅広いテーマから興味を持ったものを選択することができ、自分の研究テーマを考えることも可能です。研究活動では幅広い視点を身に着けるとともに、自ら考えて行動する力を養うことができます。研究内容の異なる仲間や先輩と、論文ゼミや普段の議論を通して多くの知見、新たな視点を吸収し、自らの研究にも役立てることができます。研究は決して一人で行うものではありません。



学生同士の議論を交わす様子



ワークショップで作成した模型



審査会後の打ち上げパーティ



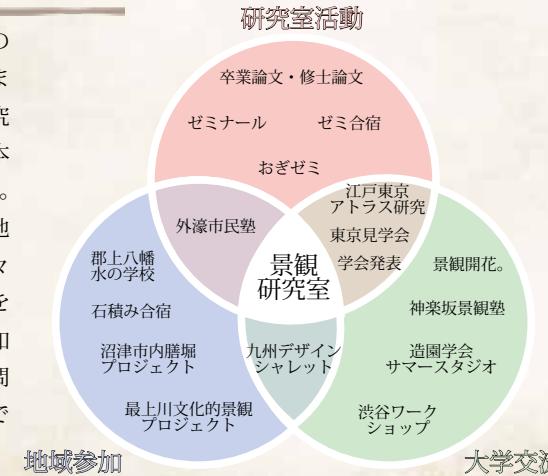
ゼミ合宿での見学会



ベランダで野菜栽培中

景観研究室で得られるもの

景観研究室では日々の活動に加えて、研究室の外に出向き、対外的にも多くの活動を行っています。フィールドワーク、催事への参加、景観研究室最大のイベントであるゼミ合宿によって、日本各地に足を運ぶことで貴重な経験が得られます。さらに設計コンペやワークショップへの参加、他大学との勉強会といった外部との交流を経て、様々な視点で、都市・地域の景観を考えるきっかけを得ます。このような様々な活動を通して自身の知識を蓄積できることはもちろん、物事に対する問題意識や疑問を持つ思考力も醸成することができます。



教員紹介

景観研究室の教授、福井先生に聞いてみた！

出身：東京都 年齢：53歳 血液型：AB型

経歴：>清水建設株式会社

>東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤専攻 助手

>国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部緑化生態研究室 研究官

>東京大学 大学院工学系研究科 都市持続再生研究センター 特任准教授

>法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授



Q：景観分野の面白いところは？

プロジェクトの現場はひとつとして同じでない。だから飽きることがない。現地に行ってその場所の環境や歴史、人の営みなどを聞き、それらの繋がりや関係性から地域のよさを理解していく過程が面白い。構造物や空間などのデザインであれば、そうした地域のよさを活かしながらデザインが何を提供できるかをパズルのように解いていき、関係者と議論しながら提案していくのが面白いと感じています。

Q：景観分野の難しいところは？

専門性の範囲が非常に広く、対象や状況に応じて使う専門知識や内容が変わること。価値観や方針の話に踏み込むので万能でわかりやすい指標がないところです。

Q：福井先生の趣味は何ですか？

きれいな風景を見ることです。それを写真に撮ったり、その場で他の人と共有できると嬉しい。それが仕事内容に直結しているので趣味とは言えないかもしれません。学生の頃、自分の車（バブル期だったので）であちこち出かけていろいろな風景を見たのは土木に進んだきっかけにもなっています。



Q：景観研究室の学生に対する印象。望んでいる事は？

「景観研究室の学生はこうだ」という平均的な印象は持っていないし、みんな同じような感じにはなってほしくない。望む事としては、行動力と決断力、失敗を恐れず試してみるフットワークの軽さ。学生だからいろいろチャンスが開かれているので、様々な経験を積んでほしい。

Q：イタリアでの生活はどうですか？

2023年5月から1月までイタリアのPavia大学に滞在して在外研究を行っています。主なテーマは文化的景観と土木デザインの関係ですが、幅広くイタリアの情報を集めています。自転車を買って郊外を走り回ったり、列車やレンタカーで少し遠くの町を見に行ったりしています。街や郊外の風景が美しいから歩いていて楽しいです。日本との文化や地理的条件などの違いを意識して日々刺激を受けて生活しています。ちょっと残念なのは住んでいる大学の寮が町外れにあって町なかの雰囲気を感じにくいこと。イタリア人の家族や友人と豊かな時間の過ごし方には感動したので帰国後も生活パターンをイタリア風にしたいと思います。

Q：2022年度の景観研究室での活動で一番の思い出は何ですか？

福井県へのゼミ合宿かな。人と会って話す、現地を見るというのはとても大事なこと。勝山市の大清水のデザインを紹介したときに、学生のみんながデザインのディテールに凄く興味を示してくれて、細かい所を説明しながら歩けたのはとても楽しかった。対面での学会開催が復活したのもよかったです。



研究室メンバー紹介

今年の景観研究室は合計 25 人が所属！あなたと一緒に景観について学びます！



兼任
講師



荻原知子 / おぎ

教授

ゼミや見学会後の懇親会で話すのが楽しみ。イタリア滞在中。

金魚が全滅して寂しい。

兼任
講師



福島秀哉 / ひでや

教育技術嘱託



佐瀬優子 / ゆうちゃん

ゼミや見学会後の懇親会で話すのが楽しみ。イタリア滞在中。

金魚が全滅して寂しい。

会社をつぶさないようにする。セルダ (ティアキン) をクリアする。

会社をつぶさない。

積読を減らす。

(積むより早く読む)。

綴るように見えるが、学生個人はしっかり見られていているところ。

コーヒーが飲めて野菜が見える。

あまり行かないでのわからない。

一生ものの何かと出会えるところ。



修士 2 年



修士 2 年



修士 2 年

週 1 のバスケがマイブーム。3pt シュート率をもつとあげたい！

4 階の隅で偶に作業しています。よろしくお願ひいたします。

最近の趣味は寝ることです。スイミングダイジ。髪伸ばし中。

研究はコツコツ。

研究室内でさらに珈琲好きを増やす！

リアルに社会に出れる人間になる。

1 年でケリをつける。耐え忍びたいと思います。

幅広い経験が積める！

おおらかさと繊細さを兼ね備えた研究室。

やかまし、さわがし、真面目し、議論多し、良し。



修士 2 年



修士 2 年



修士 2 年

感情に反して目に光がないとよく言われます。

普段の人が多いです。

アメリカ生まれの日本人。

漫画では情に厚いキャラが好き。

修論完遂 & 学生最後の 1 年を思いっきり楽しむ!!

大塚屋に必ずいく。

歴史を大切にするところ。

みんな街が好き。



修士 2 年

アニメ好き。気になったら一度やってみるタイプ。

英語を少しは話せるようになります。

修論文頑張ります！

学生だからこそできる経験を積み重ねる。

気付ければ居心地が良くなっていた場所。

色々な人いて面白いです。

個性的で何かしらのこだわりが強い人が多い。

1 自己紹介

2 今年の目

3 景観研ってどんなとこ？



修士 1 年

大旗望 / ぞむ

最近研究室行くときにカフェラテ買いがち。

研究室活動と就活頑張る！健康的な生活送る！

自立と自律。

色々なところに興味深きな人が多いとこ。いつも暖やか。

気づいたら夜なところ。

水曜日が楽しくなる研究室です。



修士 1 年

鴨潤矢 / もず

気になったものは触らずにはいられない。

くじらの強運の持ち主です。

研究室の住人になる。

人が温かい。みんな努力家で切磋琢磨できるところ。



修士 1 年

川上健太 / てい

ライブチケット外れたことがない強運の持ち主です。

研究室のデスク周りを改造中...SixTONESが好きです。



学部 4 年

新井奏音 / かなと

研究室のデスク周りを改造中...SixTONESが好きです。



学部 4 年

市原綾花 / くるまや

喋る時に手が動く。「ぼーっとしてるね」と言われるけどそんなつもりはない。

自分の考えを言語化できる人になる。ポジティブ思考な人になる！

先輩後輩関係なく仲が良い、議論できるお真面目な子とコーヒーが飲める。

幅広い分野の知識に触れる面白い環境。

優しい先生と先輩と相談でき、楽しい研究生活が過ごせるとこ。



学部 4 年

後藤沙綾 / ごっさ

どこでも寝ます。部活最優先の日々送らせてもらっています。

脱ギリギリの生活！！

卒論をうまく終わらせるように頑張りたい！！

優しい先生と先輩と相談でき、語化できるようにする。



学部 4 年

宋嘉豪 / カゴウ

中国からの留学生です。コロナで BA まで日本にいた時間は一年未満。

食べることに命かけてます！

優しい先生と先輩と相談でき、成長できる。



学部 4 年

辻玉実 / つじたま

中国からの留学生です。コロナで BA まで日本にいた時間は一年未満。

命かけてます！

優しい先生と先輩と相談でき、成長できる。



学部 4 年

辻川大心 / たいしん

ポケモンのタイプで覚えるのが得意ないわタイプのたいしんです！

47 都道府県制覇。

歩く・写真撮影・タリースが好き。人の誕生日意外と覚えがち。

いつも和やか。



学部 4 年

中村仁哉 / まさや

毎月毎月、壁にぶち当たってます。乗り越えます。

言語化レベル上げ！

語学と根性を鍛える。昨年よりもアクティブラーニングをする。

いつも研究室にいる先輩がよく相談に乗ってくれます。



学部 4 年

長谷川碧 / AO

毎月毎月、壁にぶち当たってます。乗り越えます。

早寝早起き健康な食事。

研究室イチのマイベースドナルドが大好き。



学部 4 年

横江玲奈 / れなね

研究室イチのマイベースドナルドが大好き。

早寝早起き健康な食事。

先輩方がたくさん相談に乗ってくれます（感謝）。

ゼミナール

景観を学ぶ心構え・作法を学ぼう！

景観研究室では毎年3年生のゼミナールの一環として、研究室全体でまちあるきや見学会を実施しています。今回は2022年度に行った街歩きや見学会を紹介します。

まちあるき：横浜のアーバンデザイン

横浜市都市デザイン室の桂有生さんをゲストに迎え見学会を行いました。横浜駅からみなとみらいを経由し元町商店街まで、横浜の都市デザインの取り組みを桂さんに幅広く解説いただきました。古きを織り込み新しきを受け入れる横浜ならではのまちづくりを体感するとともに、今年は2021年に完成したエアキャビンに乗り、新しい横浜の風景に触れることができた見学会となりました。



まちあるき：池袋

兼任講師の福島秀哉先生（上條・福島都市設計事務所）の引率のもと、豊島区「池袋駅周辺4公園」事業の見学会を行いました。日常的な憩いの場と防災公園機能を併せ持つイケ・サンパークではNTT都市開発、NTTアーバンバリューサポートの方々に事業の仕組みや設計について解説していただきました。都市公園への社会的要請とそれを実現する仕組みについて考えを深めました。



まちあるき：大田区池上

教育技術嘱託の佐瀬優子先生ご案内のとも、大田区池上地区の持続的発展を目指す取り組み「池上エリアリノベーションプロジェクト」の現地見学を行いました。リノベーションされた建物における使い方のデザインにより地域の人々に親しまれている場所の魅力に触れました。地域の方々からも興味深いお話を聞くことができ、池上の街の温かさを堪能した見学会でした。



まちあるき：東郷元帥記念公園 + 九段坂公園

Tetorの山田裕貴先生（兼任講師）と八杉遙さん（景観研卒業生）をお招きし、Tetorの設計による東郷元帥記念公園、九段坂公園のデザインがどのような意図でなされ、どのような過程で実現したかを現地で解説していただきました。このほか千鳥ヶ淵緑道、北の丸公園、大手町川端緑道、竜閑さくら橋など、普段何気なく見ている公共空間のデザインについて理解を深めました。



東京見学会

東京見学会は、東京大学景観研究室が1991年から継続している伝統的な行事で、2014年からは法政大学景観研究室と共同で開催しています。学生が中心となって企画・運営・見学中の説明を行います。見学会は日本橋から始まり、丸の内、日比谷、銀座、汐留といった地区に残る明治から昭和にかけての近代化遺産を丸一日かけて巡ります。最後に水上バスで様々な形式の橋梁を眺めながら隅田川を遡り、浅草へと向かいます。普段何気なく過ごしている東京の歴史に改めて目を向けることができる貴重な機会です。また、同じ場所に毎年行くことで、去年とは違った視点や見方に気づき自分の成長を感じられるチャンスもあります。



先輩と行く見学会

「先輩と行く見学会」は修士と学部生が4-5名のグループに分かれ、自ら見学先やルートを企画して実施するまちあるきです。見学地の選定にはそれぞれの学生が興味のあるエリアやまちあるきテーマをプレゼンして決定します。事前に見学先の概要や歴史・文化を調べ、情報共有することによって、現地での理解がより一層深まり、その場での発見や議論も盛り上がります。見学後には3年生が見学の成果をPowerPointにまとめて発表します。先輩との交流を深めながら企画・調査・発表の方法を学ぶまちあるきです。



おぎゼミ

おぎゼミは、おぎさんこと兼任講師の荻原知子先生が主催するゼミナールです。今まで書いてきた課題レポートでは見過ごしてきた「論理的な文章を書くポイント」をわかりやすく丁寧に解説してくれます。2022年度はまず卒業論文執筆の下準備として小論文ゼミを実施しました。論文執筆に必要な口語と文語の使い分けや論理的な文章構成能力、正しい語彙力の形成など、論文だけでなく社会に出てからも重要な事項を確認しました。また、論文ゼミ後には輪読ゼミを開催しています。今年度の題材は『近代都市空間の文化経験（成田龍一）』です。近世以降、東京や横浜などの大都市に生じた様々な現象（文明や野蛮、モダニズムとナショナリズム、総力戦下の文化変容…）を取り上げ、都市の空間が近代という時代にどのような経験をしてきたのかを読み解きます。さらにそれを自身で言語化・再構成し、他者に説明する能力を養いました。この他にも、動画への批評ゼミや東大のお出かけゼミに混ぜてもらうなど年々充実度合いが増しています！



論文紹介

特徴は分野の幅広さ。自分の専門分野を決めよう！

修士論文
卒業論文

修 佐潟周辺における地域活動の実態分析



新潟県越後平野にはかつて灌漑や生活用排水のインフラを担ってきた「潟」と呼ばれる大小の湖沼がある。このうち本研究では、ラムサール条約登録から 26 年が経過した佐潟周辺を対象に、地域活動の実施団体 / 組織の概要と活動内容について文献・ヒアリング調査をもとに整理した。それをもとに活動内容を類型化し、各類型の活動数と継続状況の整理により地域活動の場所と関係主体を時系列を追って構造化した。

修 近世以降の佐原における地域構造の形成



千葉県香取市佐原地域を対象に、郷土史資料や調査報告書などの文献調査を行った。その結果佐原地域の形成過程を読み取り、佐原の地域構造を構成する重要な要素として「統治・行政」、「住民自治」、「社会基盤整備」、「治水」、「産業」、「祭礼・信仰」の 6 項目を抽出した。さらに、佐原の住民自治組織である「町内」に着目し、その機能が佐原の地域構造にどのように寄与したのか、抽出した項目毎に考察した。

修 都市形成過程と地域イメージからみる盛岡市中心市街地の地域らしさ



盛岡市中心市街地を対象に、文献・地図調査から都市形成過程の空間的特徴の分析、アンケート調査による地域イメージ分析、そして双方の結果を踏まえた都市構造の空間的特徴の分析を行った。その結果、地域内の各エリアはそれぞれ独立してエリアイメージを形成していることを明らかにした。さらに、それらエリアイメージを規定および強調する要素について考察し、盛岡市中心市街地の「地域らしさ」を指摘した。

修 近代以降の隅田川右岸中小河川における橋詰広場の変遷



橋詰広場は都市空間における公共的な場として存在し、近代から現代に至るまでの用途はさまざまである。本研究では東京都心部（千代田区・中央区）における橋詰広場を対象に、地図資料調査と議会議事録や区史などを中心とした文献調査を行った。その結果、社会背景に応じて橋詰広場の存在や活用に違いがみられることが明らかにし、さらに設置施設の変化要因および橋詰広場が担ってきた都市的役割について考察した。

卒 1960 年代から 2010 年代の東京都心部における公開空地の計画方針と空間特性



過密化した現代の都心部において、公開空地は都心部におけるパブリックスペース創出の重要な手段である。本研究は、東京しゃれた街並みづくり推進条例に登録されている都内公開空地を対象に、空間提供者へのヒアリング調査や現地の空間観察調査により、空間が生み出されるメカニズムを把握した。その結果、都内の公開空地の空間特性の実態と、それが制度、社会背景、開発者・設計者・管理者の思想によって規定されることを明らかにした。

卒 堀川筋 4 橋の橋梁デザインと住民のエリアイメージの関係



大野美代子はインテリアデザイン出身ながら土木デザインの萌芽期（1970 年代）に橋梁デザイナーとして活躍した人物である。本研究では、堀川筋 4 橋の事業を対象に、大野のデザイン思想・意図と、周辺住民が橋梁やその周辺環境に対して抱くイメージの特徴の関係性について、文献調査とアンケート調査により分析した。その結果、大野のデザイン思想・意図が、堀川筋 4 橋周辺のエリアイメージ形成に影響を与えることを指摘した。

齊藤 浩志郎

卒 みなとまち敦賀・七尾における港湾と背後地域の連携

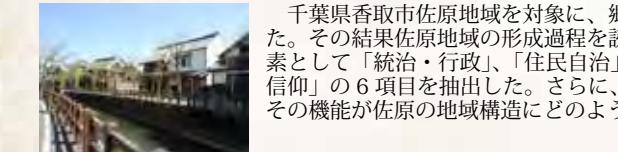
大旗 望



本研究では、古代から栄えた「みなとまち」である敦賀港と七尾港を対象に、空間・視覚・活動の 3 つの観点から港とまちの連携を分析した。空間的連携では街路網と埋立地の変遷調査、視覚的連携では水際線と旧海岸線における現地調査、活動的連携では港に関連したイベントに関する文献調査を実施した。その結果、現代の「みなとまち」における港とまちの連携の実状を把握し、具体的な「みなとまち」の特徴を明らかにした。

修 近世以降の佐原における地域構造の形成

志村 遥奈



千葉県香取市佐原地域を対象に、郷土史資料や調査報告書などの文献調査を行った。その結果佐原地域の形成過程を読み取り、佐原の地域構造を構成する重要な要素として「統治・行政」、「住民自治」、「社会基盤整備」、「治水」、「産業」、「祭礼・信仰」の 6 項目を抽出した。さらに、佐原の住民自治組織である「町内」に着目し、その機能が佐原の地域構造にどのように寄与したのか、抽出した項目毎に考察した。

修 都市形成過程と地域イメージからみる盛岡市中心市街地の地域らしさ

萩原 隆太



盛岡市中心市街地を対象に、文献・地図調査から都市形成過程の空間的特徴の分析、アンケート調査による地域イメージ分析、そして双方の結果を踏まえた都市構造の空間的特徴の分析を行った。その結果、地域内の各エリアはそれぞれ独立してエリアイメージを形成していることを明らかにした。さらに、それらエリアイメージを規定および強調する要素について考察し、盛岡市中心市街地の「地域らしさ」を指摘した。

修 近代以降の隅田川右岸中小河川における橋詰広場の変遷

原田 真央



橋詰広場は都市空間における公共的な場として存在し、近代から現代に至るまでの用途はさまざまである。本研究では東京都心部（千代田区・中央区）における橋詰広場を対象に、地図資料調査と議会議事録や区史などを中心とした文献調査を行った。その結果、社会背景に応じて橋詰広場の存在や活用に違いがみられることが明らかにし、さらに設置施設の変化要因および橋詰広場が担ってきた都市的役割について考察した。

卒 1960 年代から 2010 年代の東京都心部における公開空地の計画方針と空間特性



近年、少子高齢化や施設老朽化により公園の利用者数は減少傾向にあり、既存の公園をいかに活用するかが重要視されている。本研究では、現在再整備中の東郷元帥記念公園を対象に、夏・秋・冬の合計 12 日間の観察調査を実施し、先行研究をもとに從前從後の利用実態を比較した。その結果、利用年齢層や行動種類に変化はない一方、利用者分布や行動がみられる施設に変化があることを明らかにし、利用者の行動は施設に依存しないことを指摘した。

卒 堀川筋 4 橋の橋梁デザインと住民のエリアイメージの関係

阿部 花奈子



吉本 慎

卒 戦後の集合住宅における住民の集住意識の変遷

一高島平団地の自治会会報を対象に一 長田 奈々



戦災による住宅難への対策として、団地が誕生した。戦前から戦後にかけての住宅の形の変化と集住する住民の意識の関係は、近年見られる近隣への閉鎖性などの現代的問題としても捉えることができる。本研究では、高島平団地の自治会報『たかしまだいら』の言説を調査し、戦後の住環境および人付き合いに関する記事を整理した。その結果、そこに住まう人々の関わりや関心などの意識に変化があったことを明らかにした。

卒 最上川無堤区間百目木地区における住民の水害対応に関する水理学的検証

鴨 潤矢



山形県大江町百目木地区は過去に洪水被害を受けており、今まで無堤のまま川と町との連続性を保ち続けてきた。本研究では百目木地区内の浸水想定範囲を対象としたヒアリングおよび敷地調査、さらに氾濫解析を用いた既往洪水のシミュレーションを実施した。その結果、地域の水害軽減方策の実施状況および既往洪水時の洪水水理を確認し、これらを踏まえ、地域住民による水害対応の実態について水理学的な現象と併せて考察した。

卒 重要文化的景観選定範囲内の公共事業の設計協議の体制と運用に関する事例分析

川上 健太



重要文化的景観選定地区内の公共事業 6 件を対象に、設計協議に参加した文化的景観担当部署と公共事業担当部署に対してヒアリング調査を実施し、文化的景観選定範囲内の公共事業における設計協議の実態を整理した。その結果、両部署間での専門家の助言内容に関する正確な理解、設計協議の対象となる設計項目に関する共通認識、設計協議の内容や深度に関する公共事業担当部署側での設計協議に対する想定の違いを設計協議の課題として指摘した。

卒 都市公園再整備における利用実態変化

一千代田区東郷元帥記念公園を対象として一 松岡 明佳里



近年、少子高齢化や施設老朽化により公園の利用者数は減少傾向にあり、既存の公園をいかに活用するかが重要視されている。本研究では、現在再整備中の東郷元帥記念公園を対象に、夏・秋・冬の合計 12 日間の観察調査を実施し、先行研究をもとに從前從後の利用実態を比較した。その結果、利用年齢層や行動種類に変化はない一方、利用者分布や行動がみられる施設に変化があることを明らかにし、利用者の行動は施設に依存しないことを指摘した。

卒 明治前期の東京における水系と水利用

吉本 慎



明治前期の東京は西洋文化を取り入れ新たなインフラが導入される中で、水系基盤は江戸時代から明治時代へと受け継がれてきた。本研究では地図調査により水系要素の分布及びその特徴が確認できるエリアを抽出し、地形や産業、湧水の分布を重ね合わせることでエリアごとの水系の特徴を分析した。さらに区史等を中心とした文献調査をもとに各エリアごとの水利用を確認し、明治前期の東京における水利用の実態について考察した。

研究活動

自分の専門分野を極めよう！

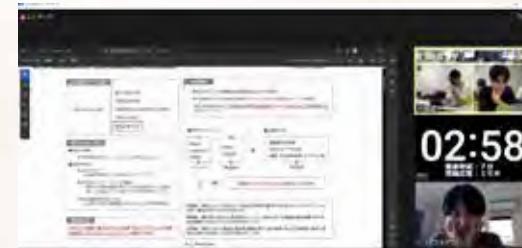
学部4年生では卒業論文、修士2年生の時に修士論文に卒業の集大成として、1年間取り組み、自分の専攻とする分野について理解を深めていきます。ここでは研究の取り組みについて紹介します。

論文ゼミ

景観研究室の卒業研究は主に週1回の論文ゼミと教員との個別相談で進めます。修論生と卒論生は隔週で自分の研究進捗を発表し、学生と教員全員で議論を交わします。この場では多くの人から意見を貰えるため、研究を進める手掛かりが得られます。夏休み明けには審査会と同じ本番さながらの真剣な雰囲気で中間発表を行います。論文ゼミでは厳しい指摘をいただくことが多いですが、自力で新しい発見をしたときなどは評価してもらえます。論文ゼミを通じて短い時間で論理的に要領よく発表したり、質問に対して的確に答える訓練を重ね、論文を完成させて審査会へと備えます。



論文ゼミの様子



発表資料をzoomで共有

作業風景



4年生になるとデスクとPCが与えられ、研究を行います

学部4年生になると研究室に机とパソコンが割り当てられ、研究に取り組みます。景観研究室では「研究は一人で取り組むもの」と捉えてはいません。研究は自分の作業だけではなく、他の人と議論を重ねながら進めていくものです。景観研には卒論を書き上げた経験のある大学院生が多く、研究に行き詰ってしまった時には相談に乗ってくれます。また、研究と共に頑張る同期と困った時は助け合い、お互い切磋琢磨し合いながら研究を進めます。研究室では研究ばかりではなくプロジェクトに取り組んだり雑談をする光景もしばしば見られます。



アンケート資料をみんなで折り込み。目標せ1000枚！



悩んでも大丈夫。頼れる先輩が相談に乗ってくれます



みんなで楽しく研究作業

時どき、OB/OGも遊びに来られます

学会発表

景観研究室の研究成果は景観・デザイン研究発表会、土木計画研究発表会、土木史研究発表会などで発表を行います。M1は卒論の成果を、M2は修論の中間的成果を発表します。B4でも研究が進んでいるものは発表します。研究成果は学会に発表してはじめて世の中の知識の一部となるので、発表には入念な準備をします。学会は日本全国の大学の持ち回りで開催されます。

2022年度の土木計画学研究発表会は琉球大学で2年ぶりの対面開催となりました。景観・デザイン研究発表会は岐阜大学で開催されました。口頭発表では学外の先生方から質問やアドバイスをいただき自分の研究の意義を再確認したり弱点を意識することができます。

景観・デザイン研究発表会は3年生も含む研究室全員で聴講し、学会の雰囲気を知ることができました。また、学会の懇親会で他大学の先生や学生、実務者の方と知り合えたり、開催地の町の様子を知ることができてとても有意義な時間です。

2023年度は景観・デザイン研究発表会は中央大学（文京区）で、土木計画学研究発表会は東京都立大学（八王子市）で開催されます。



口頭発表をする前澤健心（M1）



発表ファイト！

会場には聴講者がズラリ！

卒論審査会

卒業研究と修士論文は、本文と概要集の提出、そして学科教員全員の前での口頭発表の審査を受けて評価されます。毎年優秀な発表に対して賞が授与されており、2022年度は景観研の鴨潤矢が最優秀卒業論文賞、安孫子翔が優秀卒業論文賞を受賞しました。

卒論審査会では研究成果を7分という短時間で発表しなければなりません。景観研究室では発表のストーリーや資料作成について綿密な指導が行われます。審査会前には先輩・後輩の助けを借りながら発表を作り上げます。論文生以外の学生を含めて研究室全員が大忙しであり、肉体的・精神的にも大変な時期になります。しかし、研究室の仲間と共に励まし合いながら真剣に発表練習・資料作成に取り組み、審査会で発表を終えた後はかけがえのない達成感を感じることが出来ます。



1年間の研究成果を7分間で伝えます



当日は研究室から応援！



ギリギリまで追い込むぞ！

プロジェクト活動

論文だけでは足りない！外の世界に出よう！

景観研究室の活動は研究室内にとどまらず、他学部や他大学、地域の方々との交流・ワークショップ・まちあるきなど多岐にわたります。ここでは、景観研究室の多様なプロジェクト活動を紹介します。

江戸東京アトラス研究

法政大学の横断的研究組織である江戸東京研究センター (EToS) の研究プロジェクトのひとつ「地理情報システムと名所の景観」について、景観研究室と文学部地理学科米家志乃布教授ゼミが合同で活動しています。2022年度は明治初期の東京の地図から、井戸や水路などの水に関する要素を抽出し「明治初期の東京の水地図」を完成させました。2023年度は名所図会に描かれた挿し絵からどのような空間が描かれているのかを追究します。



EToS 学生会議。地図を広げて議論熱く！



定期的に MTG を開催

外濠市民塾

外濠市民塾は、都心の貴重な水空間である江戸城外濠を将来に活かすため、大学・高校・民間企業などが集まり、地域の方々と共に知識共有や将来像の議論やその展開を行う活動です。法政大学・東京理科大学・東京都立大学・日本大学などの学生が中心になっています。現在はまち歩きの実践、水辺利用の活動、外濠に関する認知度向上のための広報などについてチームに分かれて活動しています。



外濠付近の釣り堀に寄り道



チームに分かれて街歩き



ボアソナードタワーから見た外濠



おばんカウンターを使って外濠公園でランチ



「奏」チームで記念写真

郡上八幡水の学校

岐阜県郡上市八幡地区は、吉田川と小駄良川が合流する恵まれた地形の中で育まれた水の文化で知られています。2013年に設立された「郡上八幡水の学校」は、郡上八幡の魅力や歴史を発信しています。景観研究室は、オープンキャンパスの開催、調査や講演会の運営などに参加しています。2022年は3年ぶりの開催となり、水路と人々の関係性や文化について学び、イベントのお手伝いを通して、川と共にある地域の暮らしを知ることができました。



早稲田大学 (佐々木研) の学生とお昼休憩



疾走調査の結果を報告

東郷公園イベント

東郷元帥記念公園は関東大震災後に設置された震災復興小公園のひとつです。現在、住民協議会（座長・福井教授）での議論をもとに改修が進められています。研究室の学生は改修中や一部開園時の記念イベントのスタッフとして参加し、地域の方々と交流しています。デザインされた山田裕貴先生 (Tetor) から設計の詳細を伺い、設計者として公園を見る目も養いました。研究としても改修前や一部開園時の公園利用状況調査を行い、公園の多様な使い方を確認することができます。



イベント関係スタッフの皆さんと集合写真



イベント設営の様子



焼き芋を子供たちにご馳走

■ 沼津市内膳堀プロジェクト

福井教授が継続的にアドバイザーを務めている沼津市において、住宅地内を流れる農業用水路である内膳堀周辺の環境整備計画が進められています。世界かんがい施設遺産にも指定された用水の価値を高めるために、研究室の有志が参加し、用水の歴史や沼津市中心市街地まちづくり戦略との関係などについて調査やヒアリングを行いました。現地でフィールドワークを行い、グループディスカッションを経てその成果を沼津市職員の方々と共有しました。さらにその結果を大学に持ち帰って議論を重ね、学生からの具体的な提案を地域住民の方々に発表し、ワークショップを実施して意見交換を行いました。その成果を踏まえて市が整備計画を検討しています。



現地視察の様子

市民の方とワークショップを開催

■ 最上川文化的景観プロジェクト

国の重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の文化的景観」に選定されている山形県大江町が令和2年7月の豪雨で浸水被害を受け、無堤だった地区への堤防建設のプロジェクトが進んでいます。福井教授は文化的景観の価値保全と堤防計画の調整についてアドバイスを求められました。さまざまな立場の人たちが具体的なイメージを共有できるよう、模型を作成することになり、1.8m×1.0mもの大きさの模型を景観研究室で制作しました。大江町の職員の方や岡田一天先生（法政大学かわ・まち計画研究所特任研究員、プランニングネットワーク顧問）を交えた打ち合わせに学生も同席し、模型を用いた検討の重要性や実務での打ち合わせの雰囲気を体感しました。



敷地のセンター線を読み込み中

大江町役場の方を交えた議論

■ 石積み合宿

東京工業大学の真田先生が主催する「石積み合宿」に景観研究室から2人が参加しました。「石積み合宿」は棚田や段畠などの傾斜地で生業を営むための基盤である石積みの修復を中心とする実践を通じて、中山間地域への理解を深める一般社団法人石積み学校が主催するイベントです。空石積み（モルタルやコンクリートを用いない伝統的な積み方）は、かつては中山間地域の「普通の技術」でしたが、技術継承の問題に瀕しています。自分の手で碎いた石を積むという作業の先に、地域資源の維持について実感を持って考える機会となりました。



石積み作業の様子

参加者の皆さんと集合写真

■ デザイン WS

まだまだ外の世界には学ぶ場所がある！

景観研究室では、有志でデザインワークショップ（WS）やコンペに参加しています。ここでは、2022年度に景観研究室のメンバーが参加したWSを紹介します。

■ 造園学会サマースタジオ

造園学会サマースタジオは、土木・造園・建築など様々な専攻の学生とチームを組み、2週間の短期集中型で設計提案を行うデザインワークショップです。2022年度は、「水と土と空と生きる～次世代につなぐ多古町の風景『郊外2.0』～」をテーマに専攻の枠を超えた創造的な提案を行いました。



泊まり込みで提案内容を模索中



中間報告の様子



■ 九州デザインシャレット

九州デザインシャレットは、風景デザイン研究会が主催する地域密着型の設計演習プログラムです。2022年度は「城下町くまもとのツボをデザインする」をテーマに熊本県で開催されました。全国から集まった学生や若手技術者がチームとなり、専門家や実務者と交流しながら、設計に必要な検討作業を体系的に学ぶことができるイベントです。



模型を囲んでプランを練ります！



■ 渋谷デザインワークショップ

渋谷WSは、渋谷公園通り協議会が主催する「渋谷公園通りの未来ビジョンを考える」デザイン・ワークショップです。自然と街を歩きたくなる「ウォーカブルシティ」を目指すコンセプトのもと、講師の方々からレクチャーやエスキスを受け、東京を代表するメインストリートのデザインを渋谷の街から提案しました。



提案内容の発表中



長谷川碧（B3）のチームが見事入選

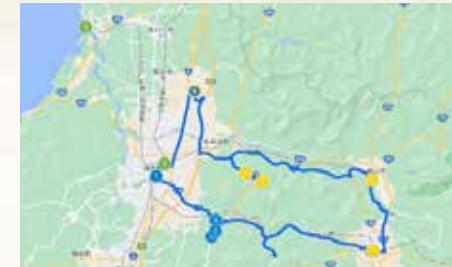


ゼミ合宿

まだまだまだ強くなれる！！！ 更なる「景観を学ぶ場」を求めて…！

ゼミ合宿とは

ゼミ合宿は学生が主体となって行う景観研究室最大のイベントです。事前に見学先に関する知識を蓄え、しおりを作成したのちに現地へと足を運びます。2022年は福井県の嶺北地方を訪れました。ゼミ合宿は単なる観光旅行とは異なり専門的な目線で風景を読み解くことで、景観を考える感覚を磨きます。また、現地を見て回って美しい風景・ご当地グルメ・現地の方との交流から日常生活では味わえない体験ができるのも魅力です。ゼミ合宿に参加することで、これまで知り得なかった世界を知り、新しいものの見方に気づくことができます。

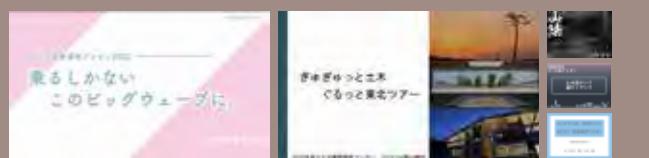


2022年度ゼミ合宿ルート

ゼミ合宿までの流れ

5月

候補地
プレゼン大会



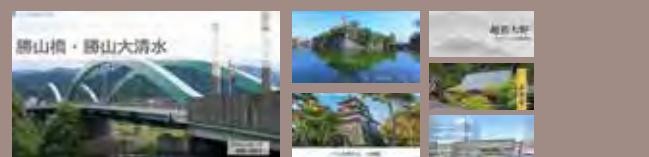
6月

合宿の
しおり作成



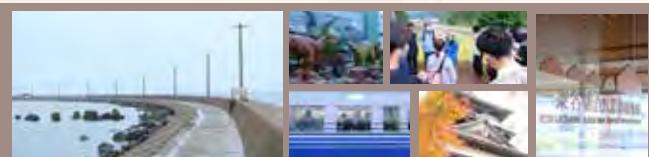
7月

事前
ゼミ合宿ゼミ



8月

ゼミ合宿



石積みを活用した河川整備が行われた一乗谷川と一乗谷朝倉氏遺跡



土木学会デザイン賞受賞の勝山橋



細部のデザインに触れた勝山大清水



曹洞宗の大本山の永平寺



北陸新幹線現場見学



【大学院とは】

大学院ってどんなところなの？大学院について知ろう！

大学院での活動は授業や論文だけではありません。景観研究室では多様な対外活動に加え、TA や設計事務所でのアルバイト、まちあるきの実施、部活動など様々な活動をしており、毎日が充実しています。

大学院の活動・進学して得られるもの

大学院進学の魅力として右の 5 つの要素があげられます。これらの能力は座学が多い学部 4 年間の授業では、十分には身に着けられません。大学院では、その枠を超えた活動や他大学との活動がメインになってくるため、論理的に考える力や、デザインする能力、幅広い知識だけではなく、自ら活動に飛び込んでいく積極性やコミュニケーション能力などが身に付いていきます。もちろん就職にも大幅に有利になります。大学院の進学をお待ちしております！



進学条件

【学費】
年間￥970,000

【奨学金】
・日本学生支援機構奨学金
・法政大学独自の奨学金
・学外奨学金

【受験方式】
①一般入学制度
②学内推薦入学制度
③学内特別推薦制度

【受験方式】
①一般入学制度
②学内推薦入学制度
③学内特別推薦制度

学科成績上位 1/2 は面接+書類のみ！

学科成績上位 1/4 は書類のみ！

卒業生の進路

景観研究室の卒業生の進路を知ろう！

景観研究室の卒業生は 102 名に上り、2022 年度で 100 名を超えるました。その進路は学部卒・修士卒どちらも建設コンサルタントが最も多く、他の研究室に比べて大学院進学率が高い事も特徴的です。現在景観研究室の修士は 11 名所属しています。

業種	学部卒：71 名	修士卒：31 名
コンサルタント	17 名 オリエンタルコンサルタント、建設技術研究所、ジオサーチ、セントラルコンサルタント、乃村工藝社、東急建設コンサルタント、日本エンジニアリング、総合技術コンサルタント、大日本コンサルタント、東急開発コンサルタント、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、東急建設コンサルタント、三井共同建設コンサルタント、トーニチコンサルタント、三井住建道路、日本工営都市空間	16 名 アイ・エス・エス、オオバ、オリエンタルコンサルタント、建設技術研究所、大日本コンサルタント、中央復建コンサルタント、パシフィックコンサルタント、ハートビートプラン、東京建設コンサルタント、八千代エンジニアリング
住宅・不動産	9 名 UR 都市機構、一条工務店、住友不動産シスコン、三島地所リテールマネジメント、タカラレバペ、大和ハウス工業、NTT 都市開発、東急コミュニケーションズ	3 名 UR 都市機構、大和ハウス工業
官公庁	9 名 千葉県庁、茨城県庁、静岡県庁、福岡県庁、板橋区、草加市、横浜市、千葉市、さいたま市	1 名 流山市
ゼネコン	8 名 鉄建建設、大成建設、五洋建設、前田建設工業、戸田建設、鹿島建設	2 名 鉄建建設、三井住友建設
設計事務所	3 名 類設計室、DO 設計、Tetor	1 名 日本設計
運輸	4 名 小田急電鉄、西武電鉄、中日本高速道路、東海旅客鉄道	5 名 東日本高速道路、京成電鉄、京王電鉄、東武電鉄
メーカー	1 名 LIXIL	1 名 ヨシモトボール
他大学院進学	3 名 法政大学大学院、東京工業大学大学院、熊本大学大学院	— —
その他	9 名 Sony Music Artists、東京ガスリックリビング、オリエンタルランド、三井化学東セロ、動画クリエイター、ちばぎんコンピューターサービス、富士通、Ridgelinez	2 名 東芝、るくバレエ教室
	8 名 法政大学大学院 在学中 + 学部時代、他大学又は他研究室に所属していた人数（3 名）	

卒業生インタビュー

2023 年度の 3 年生は 13 期生！景観研の OB・OG に話を聞いてみた！

平野綾子さん【第 3 期生 / 2017 年修士修了】



Q：景観研究室で学んだこと

自分で決めた道を自分で歩くことの楽しさを学びました。先行例もなく、自分がやりたいと思った研究を学部・修士で取り組むことを認めてもらいました。たくさん考えて、途中で心が折れかけたこともありましたが、最後まで頑張りきれたことは良かったと感じています。

Q：大学院に進学した理由

配属当時は進学予定ではなかったですが、学部を通して自分がやりたいことを考える時間がもっと必要だと感じたからです。大学院では自分がやりたいことの他にバイクという新しい趣味も見つけられました。

Q：未来の景観研に所属する学生へ

学生の内に色々な事に興味を持って、自分はこれが好きという「こだわり」を強く持てほしいです！是非海外に行ってみたり、社会人になる前に新しい趣味を見つけるなど色々チャレンジしてみてください！

平島萌さん【第 5 期生 / 2017 年学部卒業】



Q：景観研究室で学んだこと

失敗ばかりの毎日でも、とにかく続けること。続ける為には自分で楽しみを見つけて毎日を楽しむことが何よりも大事だと学びました。

Q：教授陣の好きなところ

学生の相談や飲み会にも快く時間を割いてください、学生との時間を大切にしてくれるところです。

Q：学生に戻ったらやってみたいこと

やりたいことは我慢せずに全部やりましたが、もっと海外旅行に行きたかったです。

Q：未来の景観研に所属する学生へ

研究室で過ごす時間は思いの外長くなると思いますが、自分が持つ考えをたくさん共有して、皆が居心地のよい場所を作る努力をしてみてください。応援しています！

相澤航平さん【第 8 期生 / 2022 年修士修了】



Q：景観研究室に入った理由

一番のきっかけはデザスタ 2 の講評会です。自分の提案は大抵の先生からは好評でしたが、福井先生にのみ「敢えていまひとつなところを指摘します」と課題点を指摘されたのが印象的で、福井先生のもとなら鍛えられると感じたからです。

Q：景観研究室で得た能力

一番は研究を通して訓練した論文作法や論理的思考法ですかね。プランやデザインの提案など実務においても、研究的アプローチは考え方の基礎になっていますね。上司やクラウドアントに対する説明でも、論理性が求められるので、論文的構成をベースとして資料を作るようにしています。

Q：未来の景観研に所属する学生へ

研究室では頑張っていることが多いと思います。そんな時に、自分はダメだ、とか、周りと比べて劣っている、と諦めないで欲しいなと思います。景観研の先生方や先輩は、負けじと喰らいついてくる学生には必ず応えてくれます（そうですね？笑）。どんどん研究室という場を、人を頼って沢山の経験を積んでください。

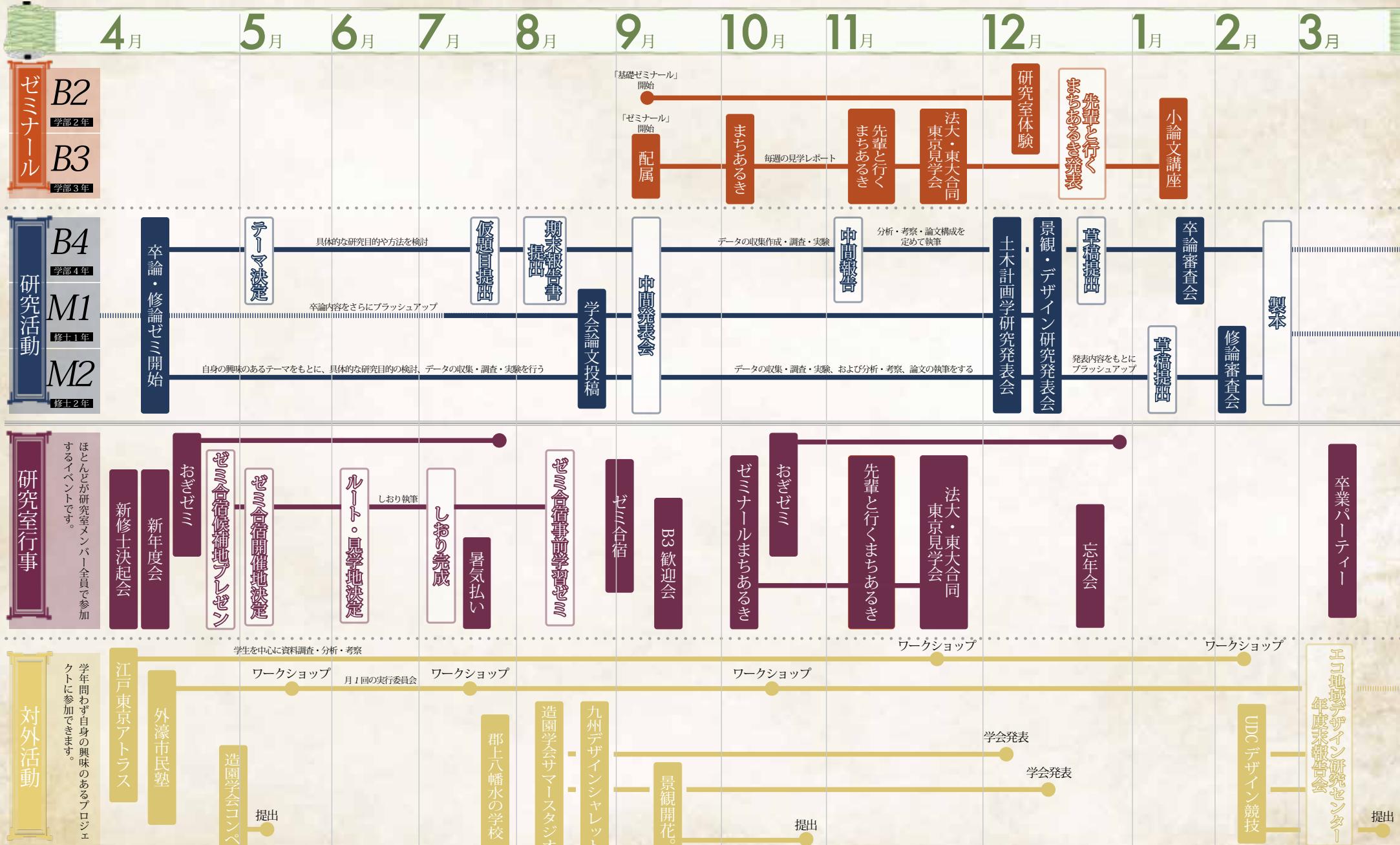
あなたはどちらに進む・・・？

▶大学院に進む

▶就職する

年間スケジュール

大学生活の真骨頂ともいえる研究室は年間を通してイベントが盛りだくさんです。ここでは、2023年度の活動結果・活動予定を整理し、景観研究室の1年間を振り返っていきましょう。





法政大学 景観研究室 vol.9 - 2023

2023年 7月発行

▶発行者

法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科

法政大学大学院 デザイン工学研究科 都市環境デザイン工学専攻

景観研究室

〒 102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

▶編集責任者

2023年度 景観研究室 修士1年

大旗 望 鴨 潤矢 川上 健太

公式 Website



Facebook



Instagram

